

原生生物界

原虫 🌞

藻類

真菌 🌞

藍藻類

細菌 🔆

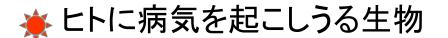
マイコプラズマ🔖

リケッチア🌞

クラミジア 🔖

そのほか、ウイルス*、プリオン*、ウロイド など

下等原生生物



真核生物

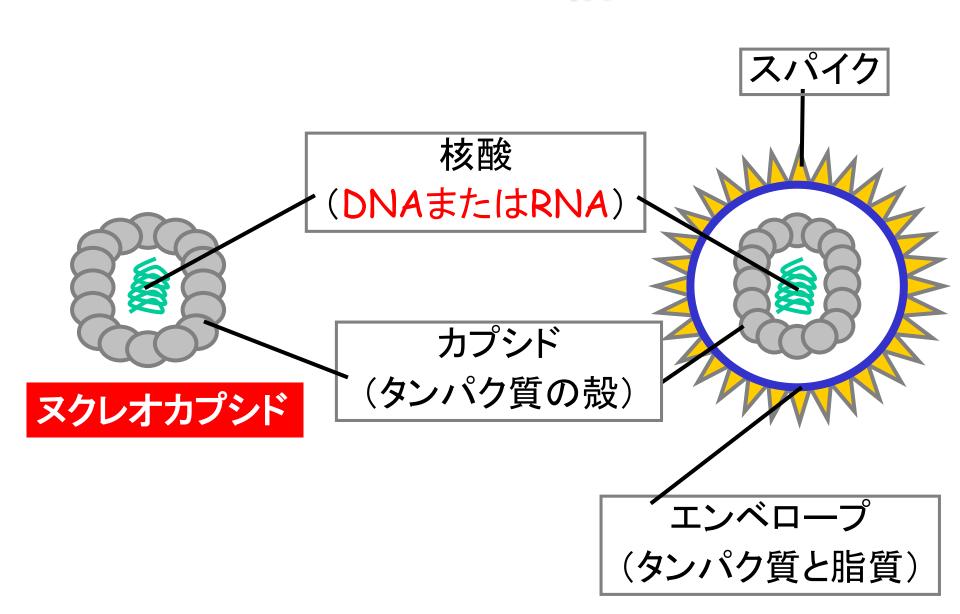
原核生物

ウイルス virus

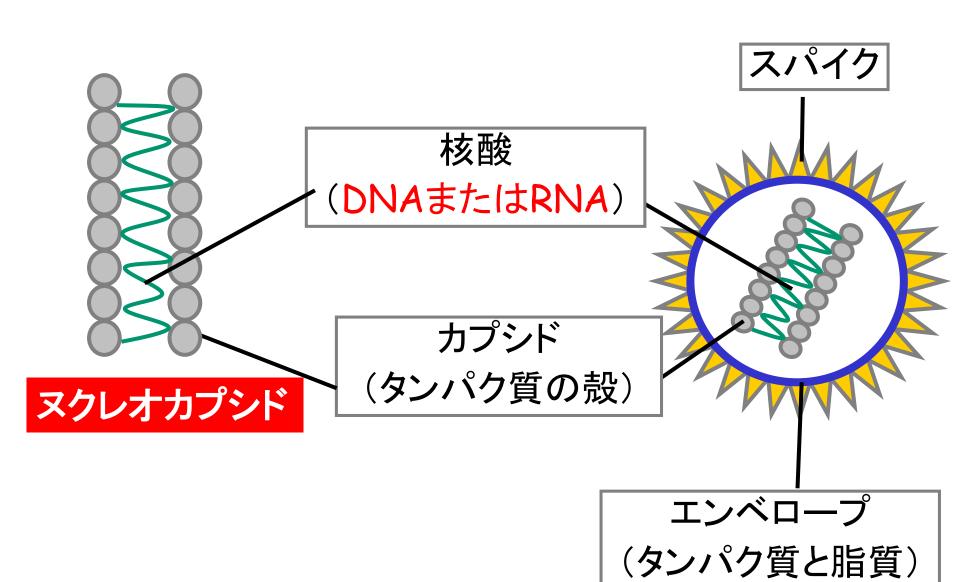
特徴

- DNAまたはRNAとタンパク質からなる微小粒子
- 大きさ:20~300nm
- •偏性細胞寄生性→自己増殖できない
- ・エネルギー産生系、タンパク合成系をもたない

ウイルスの構造

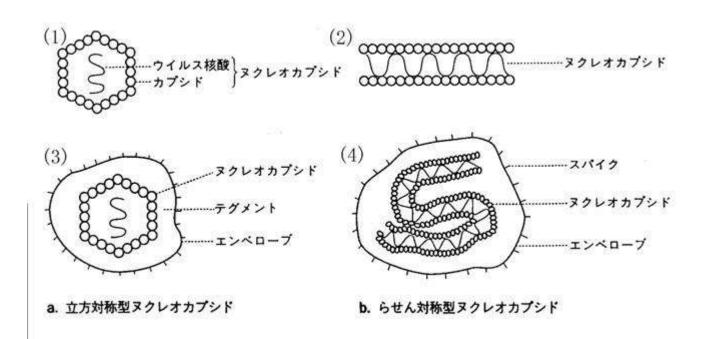


ウイルスの構造(棒状)

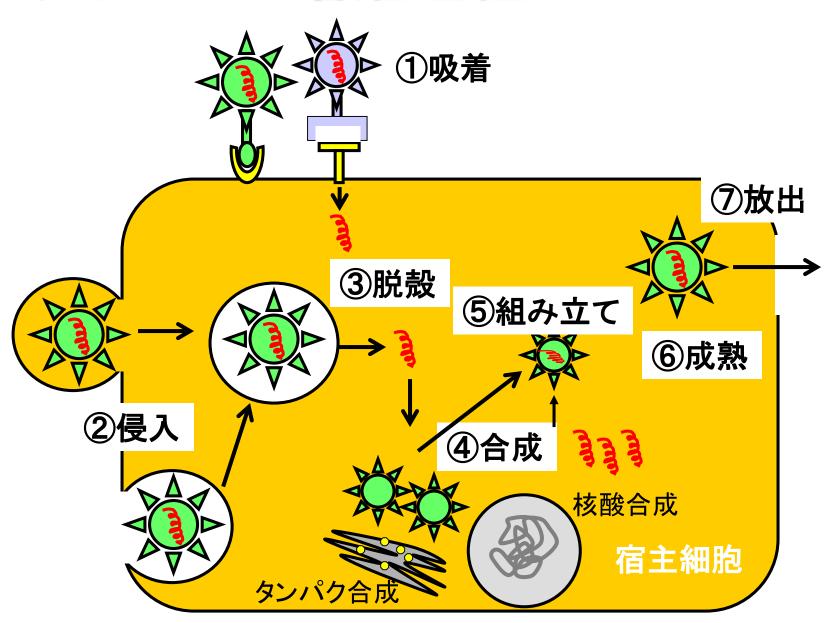


種々のウイルス形態

- (1)無エンベロープ正二十面体ウイルス粒子
- (2)無エンベロープらせん型ウイルス粒子
- (3) 有エンベロープ正二十面体ウイルス粒子
- (4) 有エンベロープらせん型ウイルス粒子



ウイルスの増殖過程



ウイルスの臓器特異性

吸着できる宿主細胞のレセプターは決まっている

レセプター(受容体)は細胞への侵入に利用する 細胞膜の蛋白質 → 臓器特異性

•肝炎ウイルス

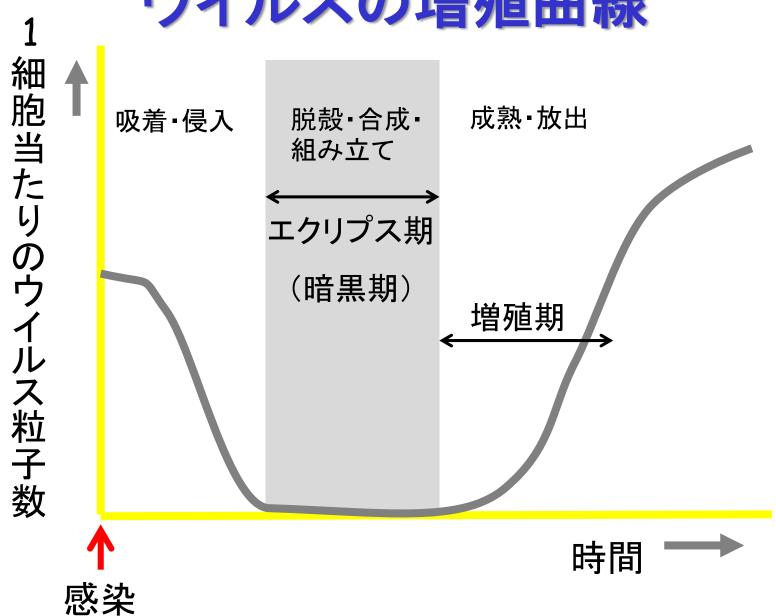
- →肝臓の細胞
- ・インフルエンザウイルス →呼吸器の細胞
- ・脳炎ウイルス

→脳細胞

•エイズウイルス

- →免疫細胞(Tリンパ球)
- •新型コロナ covid-19
- →呼吸器細胞 & 他細胞

ウイルスの増殖曲線



ウイルスの増殖

- ①吸着
- ②侵入
- ③脱殼
- 4合成
- ⑤組み立て
- 6成熟
- ⑦放出

エクリプス期(暗黒期)

: 感染しているがウイルス 粒子を確認できない

ウイルスの分類

持っている核酸によって分類

1. DNAウイルス



2. RNAウイルス



1.DNAウイルス

宿主細胞内



1. DNAウイルス

- 1) ヘルペスウイルス
- 2) アデノウィルス
- 3) ヒトパピローマウイルス
- 4) B型肝炎ウイルス

1) ヒトヘルペスウイルス

human herpes virus: HHV

特徴

・現在1~8型まで発見されている

- •体内に潜伏するウイルス
- エンベロープを持つ

回帰発症

初感染 :症状は出ないか、出ても軽症

潜伏感染:生体内に持続的に共存(無症状)

保菌者=キャリアー

回帰発症:宿主の抵抗力(免疫力)が落ちたとき に発症

* 風邪、紫外線、生理などで誘発

1) ヒトヘルペスウイルス

human herpes virus: HHV

種類

```
1型:単純疱疹ウイルス1型
```

(herpes simplex virus 1:HSV-1)

2型:単純疱疹ウイルス2型

(herpes simplex virus 2:HSV-2)

3型:水痘・帯状疱疹ウイルス

(varicella-zoster virus: VZV)

4型:EBウイルス

(Epstein-Barr virus: EBV)

1型:単純疱疹ウイルス1型

(herpes simplex virus 1:HSV-1)

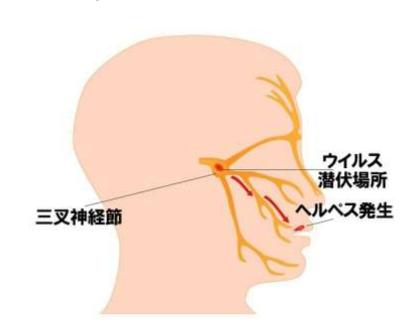
ヒトに口唇へルペスを起こす

•初感染は乳幼児期であることが多い

(不顕性感染または軽症)

・三叉神経節に潜伏

・アシクロビルが有効



口唇ヘルペス





1) ヒトヘルペスウイルス

human herpes virus: HHV

```
種類
```

1型:単純疱疹ウイルス1型

(herpes simplex virus 1:HSV-1)

2型:単純疱疹ウイルス2型

(herpes simplex virus 2:HSV-2)

3型:水痘・帯状疱疹ウイルス

(varicella-zoster virus: VZV)

4型:EBウイルス

(Epstein-Barr virus: EBV)

2型:単純疱疹ウイルス2型

herpes simplex virus 1:HSV-2

・外陰部粘膜に水疱を起こす(性器ヘルペス)

- 腰髄~仙髄神経節に潜伏

性行為によって感染(STD)

・アシクロビルが有効

1) ヒトヘルペスウイルス

human herpes virus: HHV

```
種類
```

```
1型:単純疱疹ウイルス1型
  (herpes simplex virus 1:HSV-1)
2型:単純疱疹ウイルス2型
  (herpes simplex virus 2:HSV-2)
3型:水痘・帯状疱疹ウイルス
  (varicella-zoster virus: VZV)
4型:EBウイルス
  (Epstein-Barr virus : EBV)
```

3型:水痘・帯状疱疹ウイルス

varicella-zoster virus: VZV

・初感染は水痘(水ぼうそう)、回帰発症は帯状疱疹

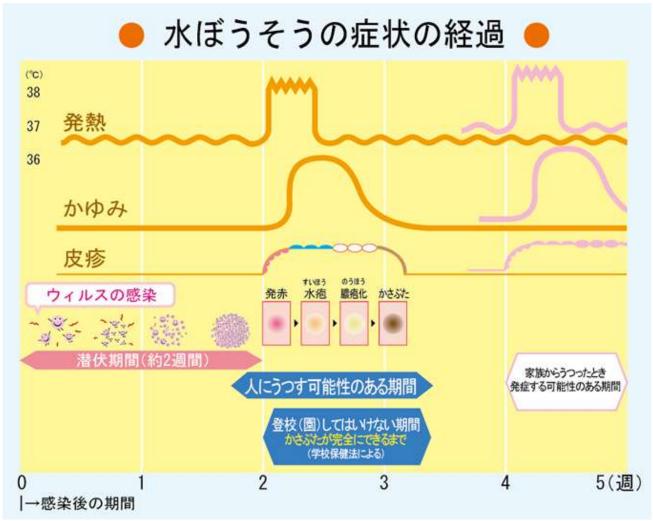
•知覚神経節に潜伏

ピリピリした皮膚感覚 →赤み、水疱形成(強い 痛みを伴うことも多い)

帯状疱疹の好発部位に三叉神経領域がある

水痘(水ぼうそう)





帯状疱疹





ブラック微生物学(丸善株式会社) から引用

1) ヒトヘルペスウイルス

human herpes virus: HHV

```
種類
```

```
1型:単純疱疹ウイルス1型
  (herpes simplex virus 1:HSV-1)
2型:単純疱疹ウイルス2型
  (herpes simplex virus 2:HSV-2)
3型:水痘・帯状疱疹ウイルス
  (varicella-zoster virus: VZV)
4型:EBウイルス
  (Epstein-Barr virus : EBV)
~8型
```

4型:EBウイルス

Epstein-Barr virus: EBV

初感染は不顕性感染または軽症であることが多い

(まれに伝染性単核球症)

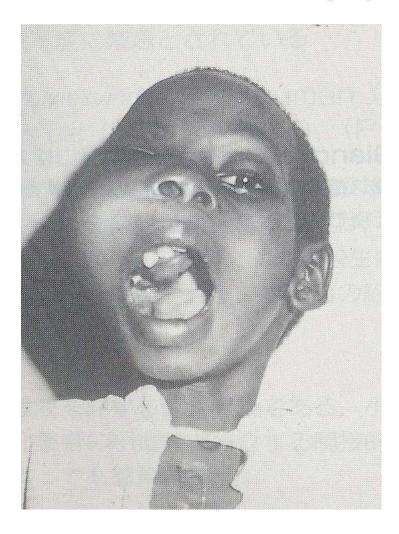
・主に白血球内に潜伏

極度の疲労感、発熱、リンパ節の腫れ、喉の痛み

- ・キスなどの濃厚な接触で感染(kissing disease)
- ・まれに腫瘍の原因となる(バーキットリンパ腫、B細

胞リンパ腫、上咽頭がんなど)

バーキットリンパ腫



中央アフリカの子どもに多い顎骨腫瘍

ブラック微生物学(丸善株式会社)から引用

ヒトヘルペスウイルス8型

human herpes virus 8: HHV-8

-カポジ肉腫を起こす

- エイズの合併症としてみられる



ヘルペスウイルスまとめ

ヒトヘルペス	初感染	回帰発症	その他
ウィルス			
単純ヘルペス	歯肉口内炎	口唇ヘルペス	三叉神経節に潜伏
ウイルス1型	新生児ヘルペス	顔面神経麻痺	アシクロビルが有効
単純ヘルペス	陰門膣炎	性器ヘルペス	仙骨神経節に潜伏
ウイルス2型	新生児ヘルペス		
水痘•带状疱疹	水痘	帯状疱疹	知覚神経節内に潜伏
ウイルス			
EBウイルス	伝染性単核症	バーキット	不顕性感染も多い
		リンパ腫	発ガンウイルス

1. DNAウイルス

- 1) ヘルペスウイルス
- 2) アデノウィルス
- 3) ヒトパピローマウイルス
- 4)B型肝炎ウイルス

2)アデノウィルス

- -エンベロープを持たない
- ・乳幼児、小児に風邪様症状を起こす
- •比較的軽傷

1. DNAウイルス

- 1) ヘルペスウイルス
- 2) アデノウィルス
- 3) ヒトパピローマウイルス
- 4)B型肝炎ウイルス

3)ヒトパピローマウイルス

子宮頸がん HPV-16 尖圭コンジローマ HPV - 6, 11 尋常性疣贅(イボ) HPV-2, 27, 57

子宮頸がんワクチンが開発され接種 エンベロープを持たない

1. DNAウイルス

- 1) ヘルペスウイルス
- 2) アデノウィルス
- 3) ヒトパピローマウイルス
- 4) B型肝炎ウイルス

2) B型肝炎ウイルス

hepatitis B virus : HBV

•ヘパドナウイルス科 エンベロープを持つ

•B型肝炎を起こす

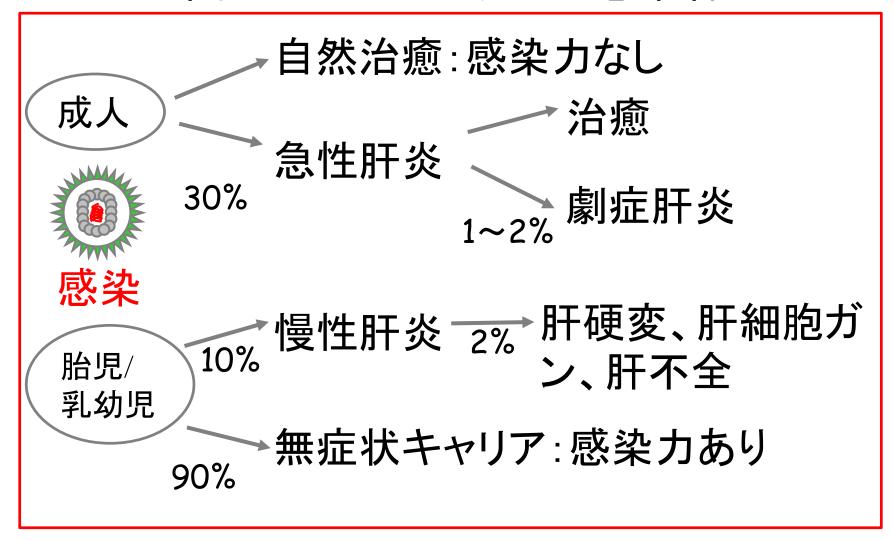
・消毒薬ではグルタールアルデヒド、次亜塩素酸ナトリウムのみが有効

・血液、体液を介して感染する (少量のウイルス侵入で感染成立) NaCl Na(O)Cl

2Na + 2C1 + O2

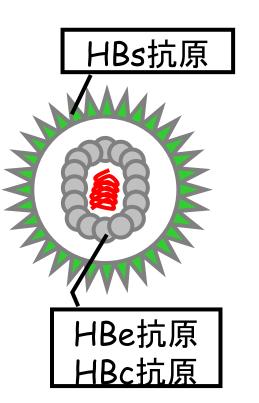
B型肝炎

国内に130万人以上の感染者



2) B型肝炎ウイルス

hepatitis B virus : HBV



HBs抗原:表層(surface)抗原

エンベローブタンパク

ワクチンとして利用→抗HBs抗体を作る

HBe抗原

増殖中のHBV粒子の一部

感染力が強いときに体内から検出される

HBc抗原: 芯(core)抗原

ヌクレオカプシド(DNA+カプシド)

B型肝炎感染経路

- 母子感染(出産時):90%以上 →1986年より母子感染防止策
- ・輸血、注射(1989年以降は検査法改定)
- ・入れ墨、麻薬接種など
- 性行為による感染(STD)
- ・院内感染(針刺し事故)



針刺し事故



リキャップしない!

☆もし起こってしまったら 十分な水洗→医療機関受診

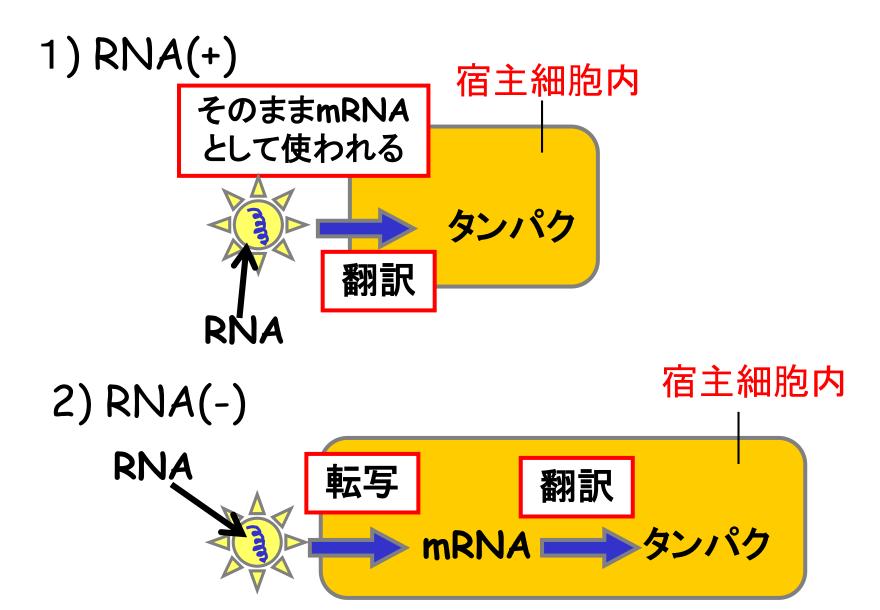
ウイルスの分類

持っている核酸によって分類

1. DNAウイルス







- 1) RNA(+)ウイルス
- 2) RNA(-)ウイルス
- 3) レトロウイルス

1) RNA(+)ウイルス

(1) ポリオウイルス

(2) コクサッキーウイルス

(3) 風疹ウイルス

(4) A型肝炎ウイルス

(5) C型肝炎ウイルス

(1) ポリオウイルス

- -ピコルナウィルス科
- ・ポリオ(急性灰白髄炎:小児麻痺)を起こす

下半身の麻痺、まれに呼吸器麻痺

- •経口感染
- ・乳幼児期に生ワクチンの集団接種(1961年より)
 - →2012年より不活化ワクチン 4種混合ワクチンに含まれるようになった

1) RNA(+)ウイルス

(1) ポリオウイルス

(2) コクサッキーウイルス

(3) 風疹ウイルス

(4) A型肝炎ウイルス

(5) C型肝炎ウイルス

(2) コクサッキーウイルス

•ピコルナウイルス科

手足口病、ヘルパンギーナを起こす

・主に小児で集団感染しやすい

•経口感染

手足口病

- ・発熱→手・足・口腔内・口角の水泡
- コクサッキーウイルスA型による(エコーウイルスによるものもある)

•経過は良好だが脱水症状に注意







「手足口病」猛威…予防策は

平成31年6月13日

西日本を中心に手足口病の感染が拡大している。大阪府では府内の全ブロックで患者が増加し、府全体の患者報告数が警報基準値を超過。12日に手足口病警報を発令した鳥取県は「今後も大きな流行が継続するおそれ」があるとし、注意を呼び掛けている。(中略)

手足口病は、水疱性の発疹を主な症状とした急性ウイルス性感染症で、乳幼児を中心に夏季に流行することが多い。原因病原体はコクサッキーウイルスやエコーウイルス、エンテロウイルスなどで、感染から3-5日の潜伏期間後、口腔粘膜や手のひら、足の甲・裏などに2-3ミリの水疱性発疹が現れる。飛沫や接触によって感染する。



ヘルパンギーナ

- ●発熱→喉頭部の水泡
- コクサッキーウイルスA16型またはエンテロウイルス71型による
- 経過は良好だが脱水症状に注意



1) RNA(+)ウイルス

(1) ポリオウイルス

(2) コクサッキーウイルス

(3) 風疹ウイルス

(4) A型肝炎ウイルス

(5) C型肝炎ウイルス

(3) 風疹ウイルス

▶ガウイルス科 発熱、発疹、リンパ節の腫れ

- ・ヒトに風疹(3日はしか)を起こす
- •飛沫感染



先天性風疹症候群

妊娠早期(20週まで)に妊婦が風疹にかかると、 胎児が感染 → 先天性風疹症候群

白内障、心奇形、難聴、血小板減少症、肝脾腫、小頭症、 低出生体重児など

風疹ワクチン接種状況

	女性	男性	
0~25歳 (1990.4.2以降生まれ)	2回個別接種		
25~27歳 (87.10.2~90.4.1生まれ)	幼児期に個別接種		
27~36歳 (79.4.2~87.10.1生まれ)	中学生時に個別接種		
36~53歳 (62.4.2生まれ~79.4.1生まれ)	中学校で 集団接種	一度も受け ていない	
53歳~ (62.4.1以前生まれ)	一度も受けていない		



生まれてくる赤ちゃんのためにできること 赤ちゃんを風しんから守るため、 予防接種をご検討ください。

- ■20-40代の女性の約14%は、 風しんの感染予防に十分な抗体を持っていません。
- ■妊娠中、特に妊娠初期に風しんにかかると、 赤ちゃんに難聴、心疾患、白内障などの障害 (先天性風しん症候群)が出る可能性があります。

風疹の抗体検査、公費で30~59歳の男性対象

平成30年10月1日

厚生労働省は、風疹の免疫の有無を調べる抗体検査について、30歳以上60歳未満の男性を対象に、来年度、検査費用を全額公費で負担する方針を決めた。今年の風疹患者は既に昨年の7倍近い642人に達しているが、この世代の男性は昔の予防接種制度の影響で、ワクチンを打っていない人が多く、流行の中心になっている。

同省は、自費だと5000円程度かかる抗体検査を受けやすくするため、2014年度より妊娠を望む女性やそのパートナーの抗体検査を無料としたが、今回の流行を受け、対象を働き盛りの成人男性に拡大する。検査で免疫がないとわかった人には接種を促す。同省は来年度、関連予算として4億1000万円を求めている。(後略)

讀實新聞

1) RNA(+)ウイルス

(1) ポリオウイルス

(2) コクサッキーウイルス

(3) 風疹ウイルス

(4) A型肝炎ウイルス

(5) C型肝炎ウイルス

(4) A型肝炎ウイルス

hepatitis A virus : HAV

•ピコルナウイルス科

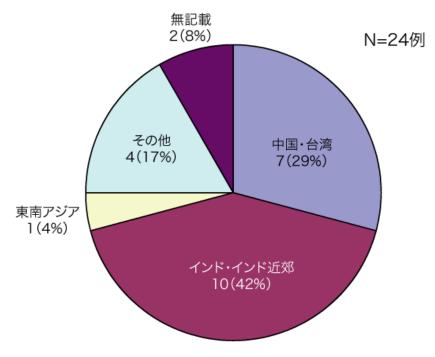


図5. A型肝炎の国外感染地域 2003年

- ・汚染された食物・飲料水などによる経口感染
- ・年齢が若いと不顕性、0.1%で劇症肝炎を起こす

1) RNA(+)ウイルス

(1) ポリオウイルス

(2) コクサッキーウイルス

(3) 風疹ウイルス

(4) A型肝炎ウイルス

(5) C型肝炎ウイルス

(5) C型肝炎ウイルス

hepatitis C virus : HCV

- •フラビウイルス科
- 体液、血液を介して感染(1988年に発見)
- ・予後が悪い
 - 50~80%が慢性肝炎へ
 - →約20年で肝硬変、肝ガンを起こす

薬害肝炎救済法

- ・日本に200万人以上の感染者
- →汚染された血液製剤の使用による



-2008年 薬害肝炎救済法制定

C型肝炎訴訟、カルテのない女性 と国が和解 広島地裁

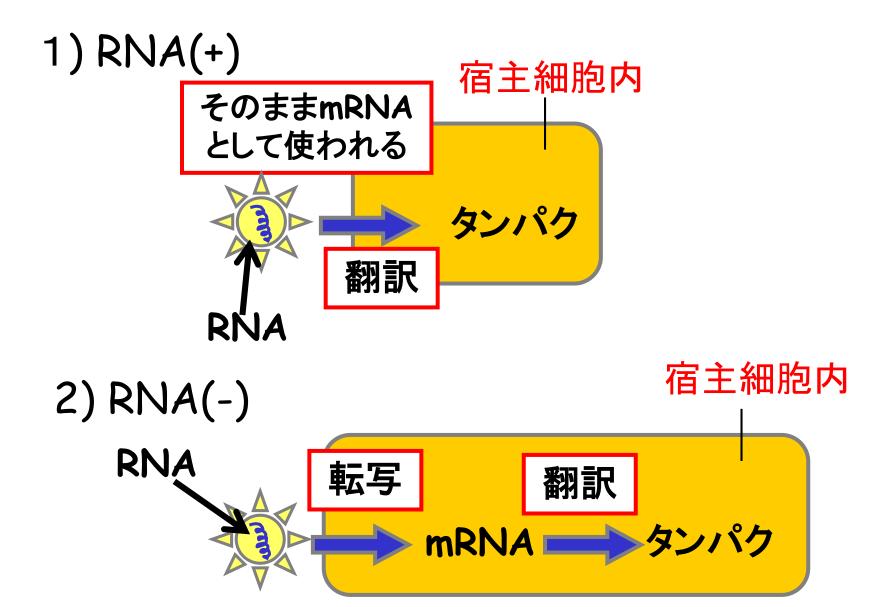
平成30年9月12日

DIGITAL

(前略)弁護団によると、女性は1982年に出産した際、「 フィブリノゲン」を止血のために投与され、C型肝炎になっ たという。2008年の救済法成立後に投与されたことを証 明しようとしたが、医師の記憶があいまいで、カルテも保 存期間の5年を過ぎて残っておらず、適用外とされた。 女性はこれを不当として2012年、広島地裁での集団 訴訟に加わった。15年ごろ、当時の担当医師が偶然、血 液製剤を使った患者名に丸印を記したメモを発見した。(後略) 朝曰新聞

肝炎ウイルス

	HAV	HBV	HCV	HDV	HEV
核酸	RNA	DNA	RNA	RNA	RNA
様式	経口感染 (排泄物・ 飲料水・食 物)	性感染 母子間 医療事故 (血液•体 液)	性感染 母子間 医療事故 (血液•体液)	血液 ル ル 本 が との 混合 感染 が 必須 (欠損 ウィ ルス)	経口(糞口)感染 (排泄物・飲料水・ 食物) ブタ・シカ・イノシシ から分離される人 畜共通感染症
予後	不顕性感 染多い 高齢者で重 症化	不顕性感 染多い 急性肝炎 先天性 キャリアが 多い	50~80%で 慢性感染→ うち20%で 肝硬変→肝 癌	重症 死亡率高 い	急性肝炎妊婦で死亡率高い



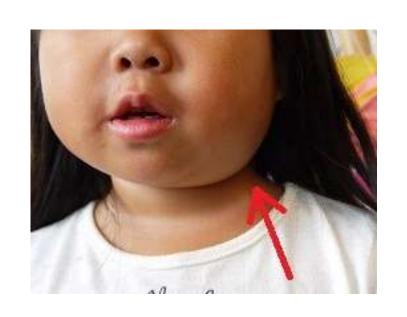
2) RNA(-)ウイルス

- (1) ムンプスウイルス
- (2) 麻疹ウイルス
- (3) インフルエンザウイルス

(1)ムンプスウイルス

- ・流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)を起こす
- 潜伏期間: 約2~3週間
- ・幼児期に感染することが多い(生涯免疫あり)
- ・飛沫または接触感染

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)





- ・片側または両側の唾液腺腫脹(耳下腺、顎下腺が多い)
- 合併症: ムンプス髄膜炎、ムンプス難聴

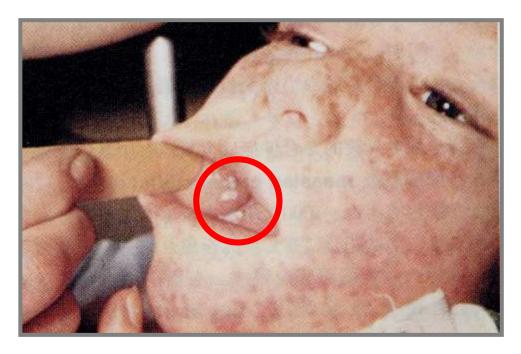
2) RNA(-)ウイルス

- (1) ムンプスウイルス
- (2) 麻疹ウイルス
- (3) インフルエンザウイルス

(2)麻疹ウイルス

- パラミクソウイルス科
- •麻疹(はしか)を起こす
- 飛沫感染すると100%発症

麻疹



- ・口腔内にコプリック斑(診断に用いられる)
- 二峰性の発熱
- ・乳幼児では死にいたることもある

2) RNA(-)ウイルス

- (1) ムンプスウイルス
- (2) 麻疹ウイルス
- (3) インフルエンザウイルス

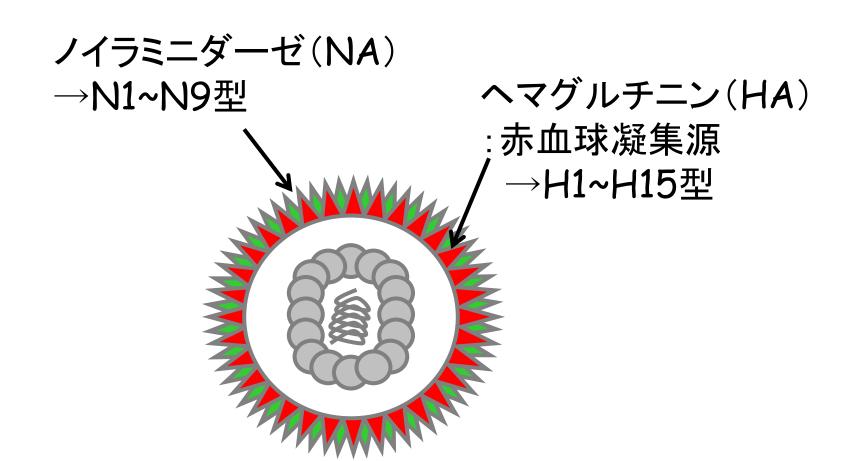
(3)インフルエンザウイルス

•オルトミクソウイルス科

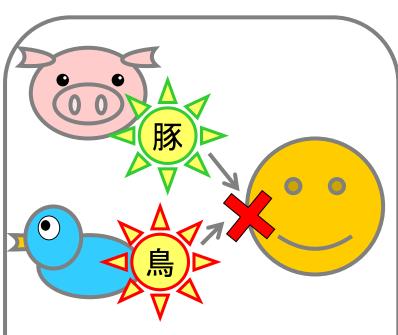
内部タンパクの抗原性によってA、B、C の3型に分類

• 呼吸器に感染

(3) インフルエンザウイルス



鳥インフルエンザと豚インフルエンザ



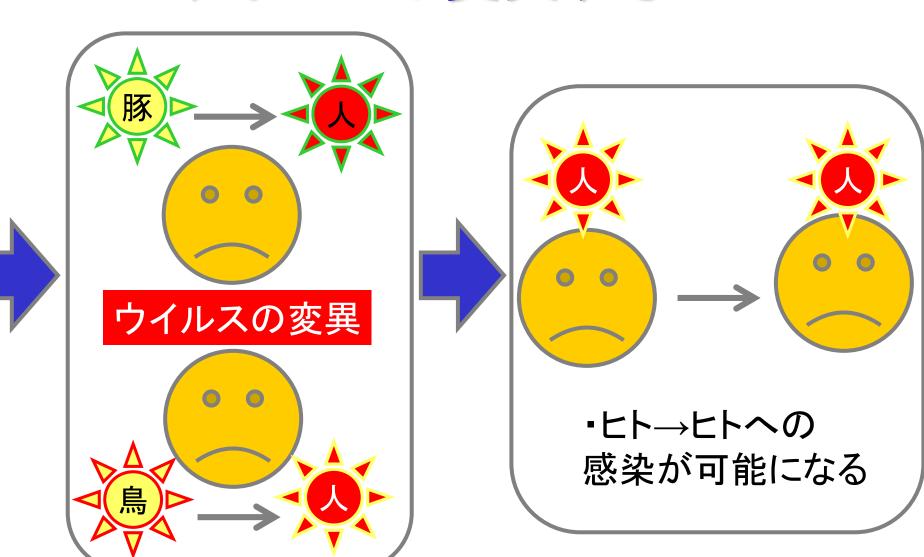
それぞれの宿主は 決まっている。





- ・大量のウイルスの暴露
- ・ウイルスとの長期接触

ウイルスは変異する!



2. RNAウイルス

- 1) RNA(+)ウイルス
- 2) RNA(-)ウイルス
- 3) レトロウイルス

3) レトロウイルス

- -RNAウイルスの一種
- ・逆転写酵素を持つ

宿主細胞内 逆転写 転写 翻訳 DNA MRNA タンパク

3) レトロウイルス

(1) ヒト免疫不全ウイルス

(2) ヒトT細胞白血病ウイルス

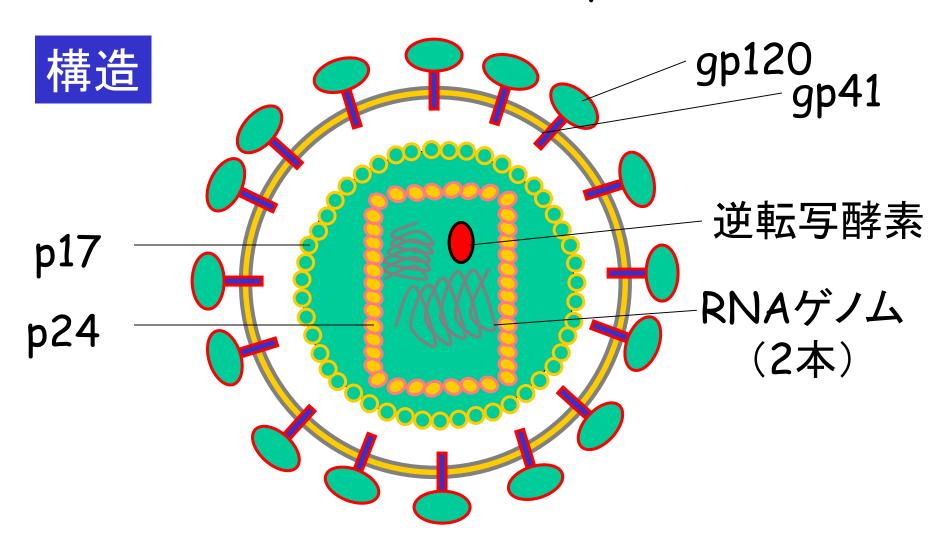
(1)ヒト免疫不全ウイルス

human immunodeficiency virus: HIV

- •レトロウイルス科
- ・ヒトにエイズ(ヒト免疫不全症候群)を起こす
- -1980年代から男性同性愛後者間で急増
- 性行為、母子間、血液、体液を媒介して感染

(1)ヒト免疫不全ウイルス

human immunodeficiency virus: HIV

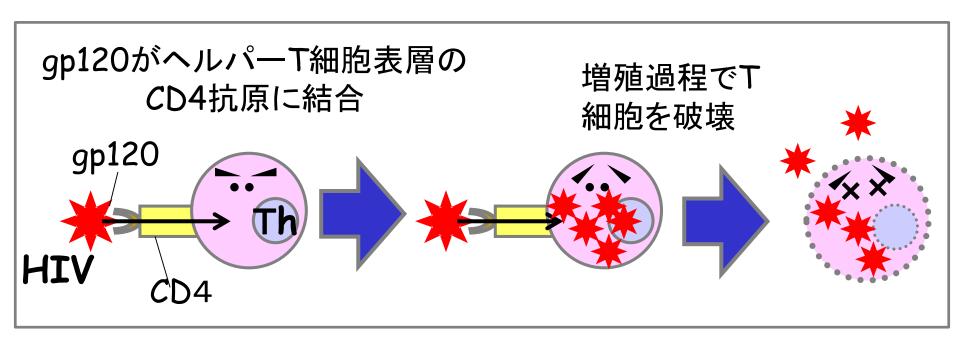


(1) ヒト免疫不全ウイルス

human immunodeficiency virus: HIV

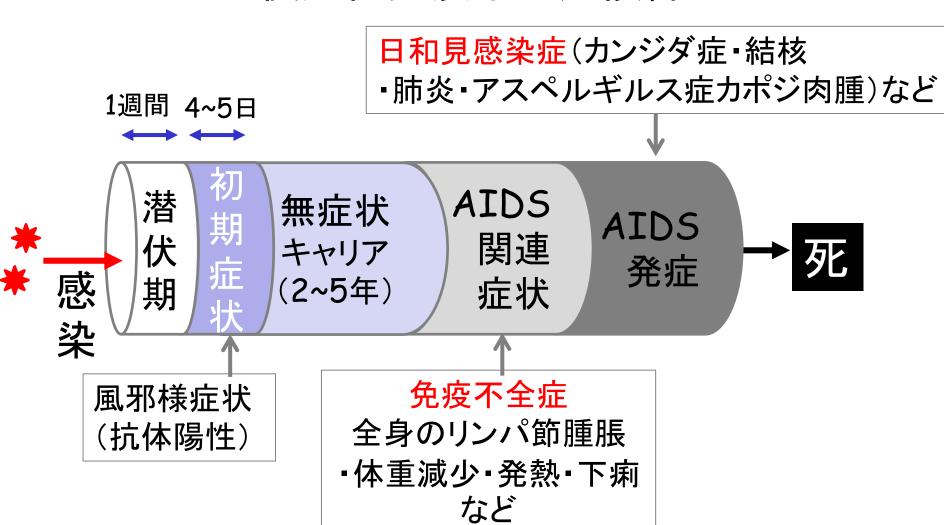
細胞性免疫を司るT細胞を破壊→免疫不全

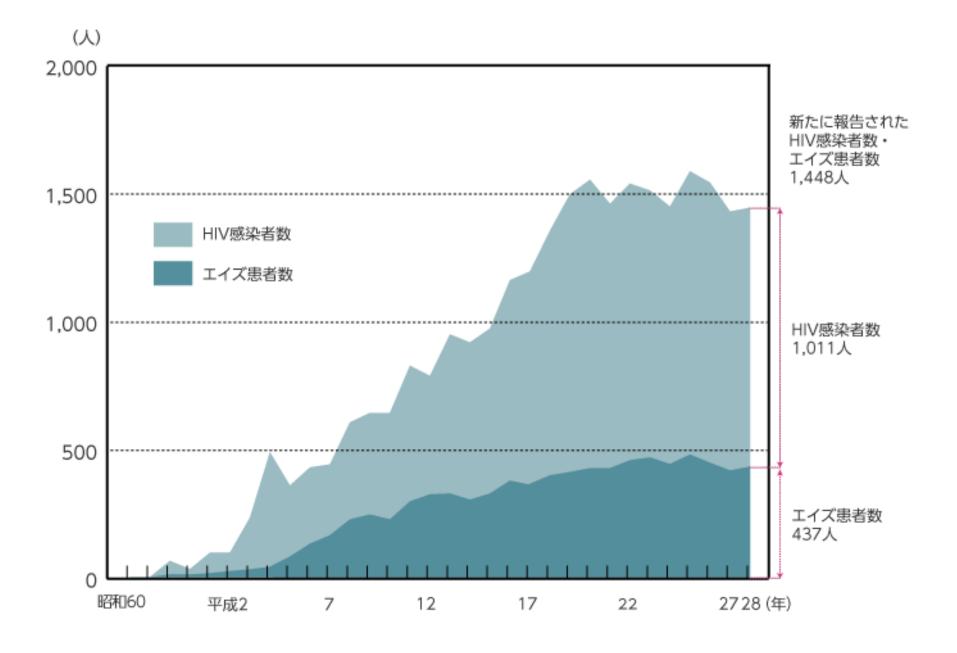
細胞性免疫 ウィルス感染や腫瘍化した細胞を排除



AIDS

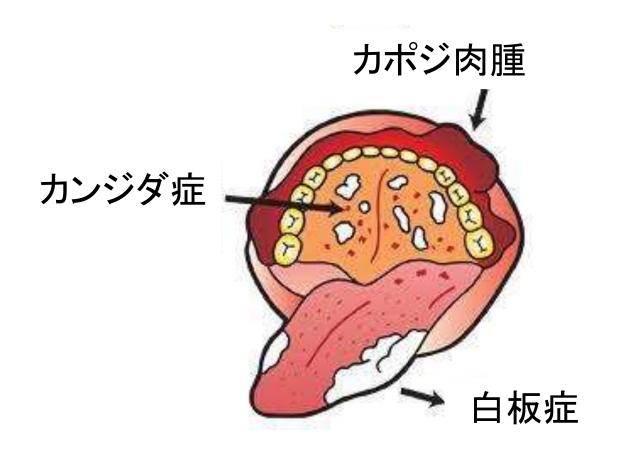
acquired immunodeficiency syndrome 後天性免疫不全症候群





H28年エイズ発生動向/厚生労働省

エイズ患者の口腔内感染症



HIVは感染力が弱い





世界の取り組み









3) レトロウイルス

(1) ヒト免疫不全ウイルス

(2) ヒトT細胞白血病ウイルス

(2)成人T細胞白血病ウイルス

human Tcell leukemia virus: HTLV-1

- レトロウィルス科
- ・成人T細胞白血病を起こす
- ・感染から発症まで30~40年の潜伏期
- 母子感染、性行為により感染

成人T細胞白血病



ヘルパー T 細胞からのおねがいです。

エイチ・ティ・エル・ブイ・ワン

ヒト T細胞白血病ウイルス 1型

正しく知ってください。

- ・感染するとHTLV-1 関連疾患を発病することがあります。
- ・母子感染と性行為感染が主な感染経路です。
- HTLV-1 の検査は保健所などで受けることができます。
- *1 生産で感染者の約5%が成人下維肥白血病・リンパ種 (ATL)、約0.3%が HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) を発症するといわれています。 *2母乳に含まれるリンパ球による感染が大部分です。

ヘルパー T細胞

体内ではたらく免疫細胞(Tリンパ球)

外数侵入の知らせを受け、外数がどんなもの であるのかという情報をもとに侵入した敵に 的確に攻撃できるように戦略を決める司令官。

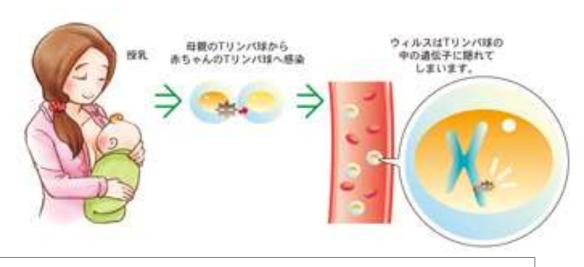
HTLV-1 は全にヘルパー T細胞に製染する。





HTLV-1の母子感染

母乳を介して感染



HTLV-1 母子感染予防策

- 1) 完全に母乳を与えない
- 2) 生後90日間のみ母乳を与える
- 3) 母乳を凍結、解凍してから与える

その他のHTLV関連疾患

•HTLV-1関連脊髄炎

慢性的な脊髄の炎症

- →排尿障害、両足の麻痺、便秘など
- <u>・HTLV-1関連ブドウ膜炎</u>

慢性的なブドウ膜(眼)の炎症

→飛蚊症、かすみ目、充血、視力の低下

その他 新興感染症ウイルス

表1. ウイルス性出血熱と出血を生ずるウイルス性疾患

疾患名(登場年)	ウイルス(科)	自然宿主と感染経路	分布地域
○ラッサ熱(1969)	ラッサ (アレナ)	マストミス→ヒト→ヒト;まれに院内感染	西アフリカ一帯
○エボラ出血熱(1976)	エボラ(フィロ)	不明→ヒト→ヒト; 不十分な医療用具によ る看護、介護での感染	アフリカ中央部
○マールブルグ病 (1967)	マールブルグ (フィロ)	不明→ヒト→ヒト/サル→ヒト→ヒト	アフリカ中東南部
○クリミア・コンゴ出血熱 (1945,1956)	クリミア・コンゴ (ブニヤ)	哺乳動物→ダニ→ヒト→ヒト;しばしば 院内感染	アフリカ全土、中近東、 中央アジア、インド亜 大陸、東欧、中国
●南米出血熱	フニン、マチュボ、 グアナリト、サヒア (アレナ)	アルゼンチン出血熱、ボリビア出血熱、 ベネズエラ出血熱、ブラジル出血熱 野ネズミ→ヒト	南米
※黄熱	黄熱(フラビ)	蚊→ヒト	アフリカ、中南米
※腎症候性出血熱	ハンタ (ブニヤ)	野ネズミ→ヒト	アジア、欧州
※ハンタウイルス肺症候群	ハンタ (ブニヤ)	野ネズミ→ヒト	米国
※リフトバレー熱	リフトバレー (ブニヤ)	蚊→ヒト	アフリカ全域、中近東
デング出血熱	デング (フラビ)	蚊→ヒト	東南アジア、インド、中南米

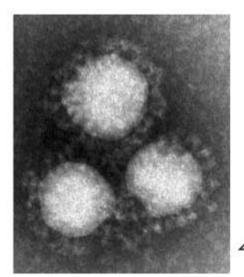
[○] VHF: クラス4病原体、ヒトからヒトへの感染が見られる。 ●クラス4病原体、ヒト→ヒト感染はまれ。

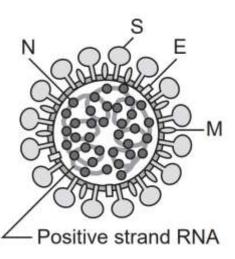
[※]クラス3病原体(CDCでは、ハンタウイルス肺症候群についてはクラス4扱いとしている。)

コロナウイルスとは?

- ・いわゆる「風邪」をおこすウイルス
- ヒトでは4種類確認されている (HCoV-229E、HCoV-OC43、HCoV-NL63、HCoV-HKU1)
- ・ウイルスの形状が王冠に似ていることから名 前が付けられている







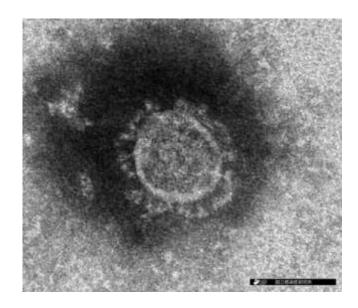
SARSウイルスとは?

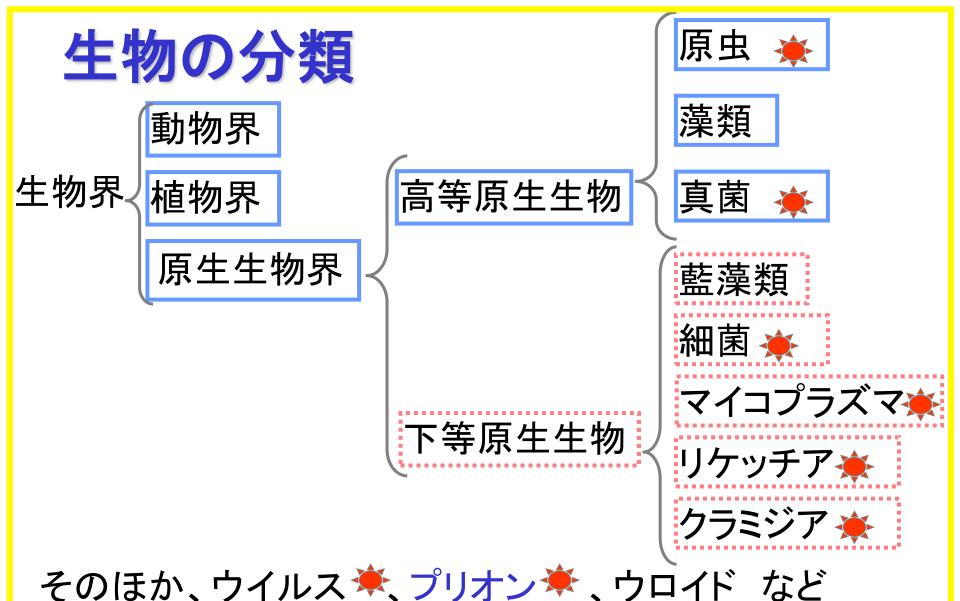
- 重症急性呼吸器症候群ウイルス
- (Severe Acute respiratory Syndrome)
- -2002年中国広東省より発生
 - : 感染者数8098人 死亡者数774人
- コウモリ由来のウイルスである
- WHOにより2003年7月終息宣言

新型コロナウイルスとは?

- •正式名称はSARS-CoV-2
- -2019年12月以降中国湖北省武漢市を中心に発生
- WHOにより新型コロナウイルスによる感

染症をCOVID-19と命名





★ ヒトに病気を起こしうる生物

真核生物

原核生物

プリオン

・感染性タンパク因子→核酸をもたない

・物理化学的性質が強い

→ホルマリン、通常のオートクレーブ滅菌では

感染性持続する

(134℃・3気圧・18分で感染性なくなる)

プリオン病

伝達性海綿状脳症

→神経細胞の変性、壊死により、脳がスポンジ状 に変性

動物では

・スクレイビー (羊)

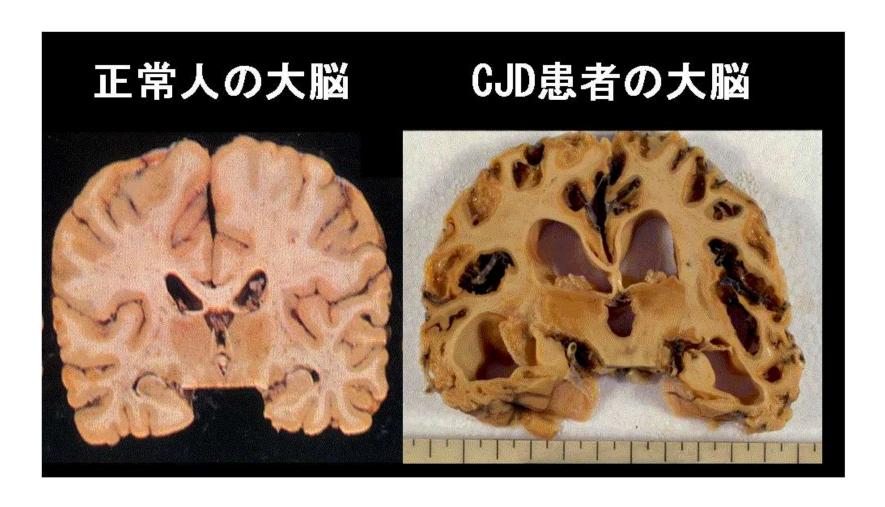
•狂牛病(牛)

ヒトでは

クロイツフェルト・ヤコブ病

クロイツフェルトヤコブ病

Creutzfeldt-Jakob disease: CJD



クロイツフェルトヤコブ病

Creutzfeldt-Jakob disease: CJD

• <u> 孤発性CJD/家族性CJD</u>

急速に進行する<mark>認知症症状、ふらつき、不規則</mark>なふるえ(ミオクローヌス)など→全身衰弱・呼吸麻痺など→死亡

· 変異型CJD/感染型CJD

抑うつ、不安、自閉、異常行動などの精神症状 →手足の感覚障害やミオクローヌス、記憶障害 など→1年程度で無動性無言の状態→死亡

プリオンタンパク質とは?

・正常プリオンタンパク(PrP)は酵母からヒトまで、 普通に存在するタンパクである

→ヒトでは第20染色体上に遺伝子がある

- 神経シナプスの伝達調整
- •小脳の細胞維持
- •睡眠調節

異常プリオンタンパクが 体内へ取り込まれると・・・

中枢神経系に蓄積される →正常プリオンタンパクPrPの変性



プリオン病の臨床的特徴

伝達性海綿状脳症:脳がスポンジに変性

特徴

- ・炎症反応がみられない
- 症状がでるまでに非常に長期間の潜伏期がある

その他のプリオン病

クールー病

パプアニューギニア フォレ属の間で流行 手足の運動失調、どもりなど→昏睡→死亡

• 致死性家族性不眠症

脳細胞の変性により夜間の興奮や不眠など

→1年以内に昏睡→死亡